■日時　平成26年8月21日(木)　■天候　晴れ　　千葉県立市川工業高校 対 埼玉県立川越工業高校

■球場　江戸川区球場　第1試合　3回戦　準々決勝　■試合時間　1時間47分　■備考　8回コールド

■審判　球審:伊藤　塁審:江口　杉田　進士

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
川越工	埼玉	0	0	0	0	1	0	0	0								1	3	7
市川工	千葉	0	4	1	0	0	0	0	3x								8	10	0

川越工

	ポジション					氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
1	二	投				吉 満 尚 毅	4	0	0	0	遊ゴ		三振		三邪			三振							
2	遊					越阪部 靖 裕	4	0	0	0	捕飛			遊ゴ	遊ゴ			一ゴ							
3	捕					川 上 諒	0	0	0	0	死球			四球		死球									
4	投	右				三 浦 奨 平	3	0	1	0	三振			三邪		左安									
4			右			大 岡 飛 来	0	0	0	0															
5	中					加 藤 吉 宏	2	0	0	0		三振		四球		遊飛									
6	一					松 田 健 太	3	0	0	0		三振		三飛			中飛								
7	三					栗 林 佑 哉	3	1	1	0		一邪			遊安		三振								
8	左					甲 斐 稜 次	3	0	1	0			中飛		右安		一ゴ								
9	右					能登谷 錬	2	0	0	1			二ゴ		二ゴ										
9		二				中 村 剛	1	0	0	0								三ゴ							
						合計	25	1	3	1	残塁:4　併殺:0														

備考

■バッテリー

投手
三 浦 奨 平
吉 満 尚 毅

捕手
川 上 諒

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
三 浦 奨 平	6	27	7	3	0	3
吉 満 尚 毅	1 2/3	9	3	0	0	1

市川工

	ポジション					氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
1	遊					中 平 嘉 貴	4	0	1	2	三振	左安		投飛			投ゴ								
2	投					近 藤 真 澄	4	0	0	0	三ゴ	遊ゴ			遊ゴ		投ゴ								
3	二					馬 場 有 希	4	0	0	0	一失	三邪			二ゴ		一ゴ								
4	捕					村 松 正 悟	4	1	2	0	三ゴ		一邪		三安			中2							
5	一					菅 原 優 人	4	1	2	1		右3	二飛		二ゴ			右安							
6	中					相 模 武	4	2	2	1		左2	中2			中飛		投ゴ							
7	三					三 橋 拓 未	4	2	2	0		二安	遊ゴ			中安		投ゴ							
8	右					鈴 木 優 矢	4	1	1	0		三振		三振		二飛		遊安							
9	左					佐 藤 寿 大	4	1	0	0		一失		投飛		遊ゴ		三失							
						合計	36	8	10	4	残塁:5　併殺:0														

備考

■バッテリー

投手
近 藤 真 澄

捕手
村 松 正 悟

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
近 藤 真 澄	8	29	3	6	4	1

■戦評

大会3日目江戸川球場の第1試合は市川工業高校と川越工業高校の関東勢同士の対戦となった。試合が動いたのは2回市川工業は先頭5番菅原が三塁打で出塁すると続く6番相模の適時二塁打で1点を先制する。敵失により1点を加えなお一死二三塁の好機に1番中平が2点適時安打を放ちこの回計4点を奪い試合を優位に進める。3回にも1点を失い5点差を追いかける展開となった川越工業は5回先頭の7番栗林がチーム初安打となる内野安打で出塁すると8番甲斐も安打で続き好機を広げ内野ゴロの間に1点を返す。しかし後続が打ち取られこの回の反撃は1点に終わる。4回以降追加点を奪えずにいた市川工業であったが8回5番菅原の適時安打や相手の守備の乱れから3点を奪い7点差とし試合を決めた。8回コールド8－1で市川工業が勝利し昨年に続いてベスト4に進出した。市川工業先発近藤は相手に的を絞らせない絶妙の配球と程よい制球で川越工業打線を散発の3安打に抑える快投を見せた。一方敗れた川越工業は投手陣が無四球とテンポよく投げていただけに7失策と要所で守りにミスが出たのが痛かった。